

## 丈夫で、よく増え、美しい

横浜市 稲垣 敏明

会員の皆さん、協会から届いた配布苗はその後どうしていますか？近年は3寸ポットに入った良苗が9月に到着しますね。手元の品種との重複がない限り、花を見るために鉢替えか地植えをしたいと思います。

無事に花期を迎え、自分好みのものであれば増殖を図りますが、脇芽が多く出るもの少ないもの、分株後に溶けてしまうものなど品種によって様々です。

私が入会して以降、受け取った苗は次のとおりです。

### 〈協会配布苗〉

年	品種名	タイプ	年	品種名	タイプ
H13	新七彩の夢	肥後	H23	昇仙峡	肥後
H13	瑞宝	伊勢	H24	松涛	肥後
H14	遠雷	肥後	H24	安濃乙女	伊勢
H14	皇玉	肥後	H25	瓜紅	長井
H15	葵の上	江戸	H25	惜春	肥後
H15	酒中花	江戸	H26	金冠	交雑
H18	青柳	伊勢	H26	葵の上	江戸
H18	旭匠	肥後	H27	揚羽	江戸
H19	霓裳羽衣	江戸	H27	ブルーボンボン	米国
H19	稲妻	肥後	H28	吉野山	肥後
H20	朝戸開	江戸	H28	潮流	江戸
H20	中禅寺湖	肥後	H29	伊勢舞子	伊勢
H21	士清	肥後	H29	桃山の宴	肥後
H21	若獅子	伊勢	H30	桜川	肥後
H22	有馬川	江戸	H30	筑紫路	肥後
H22	紅れんげ	肥後	R 1	雁の夜空	肥後
H23	雲井の雁	肥後	R 1	鸞鳳	肥後

※手元記録をもとに作成、H16、17は不明。

作場で消滅したり淘汰したものもありますが、現在も「丈夫でよく増え」てくれるものとして、皇玉、霓裳羽衣、安濃乙女などが挙げられます。

さらに自分の好みで「美しい」と思うものはもっと絞られます。

絶種しないように毎年1品種3鉢ずつ、自分好みは最大で穴トレー1枚分(11鉢)を作っ

ていますが、やはり前提として「丈夫でよく増え」る性質を持っているとよいです。

品種が作出されてからの経過年数も影響があります。古花はよく増えてくれる年がある一方、脇芽がほとんど出ない年もあるなどバラツキが大きいです。

そうした中、古い品種でも毎年良く増えてくれるものがあります。蛇の目傘、万里の響、五月晴などがそれにあたります。

また、三溪園での展示会時に来場者の方から人気を博した品種を増殖しておくことも留意するようにしました。(ただ、2019年は増やしたものの展示会開催期間に開花時期が合いませんでした。)

展示会での人気投票結果を見て驚いたのは、白花の不振です。鉢飾りに不可欠な白花が不足しないよう皆さん数多く作ってこられましたし、気品のある名花も多いので、今後観覧者への説明時には白花の良さをアピールしていきたいと考えています。

さて配布苗に戻りまして、品種選定時は希少性や見応えなど様々な観点から絞り込んでいると思いますが、左表を見て気がつくことは肥後タイプが一番多く選ばれている点です。34点のうち18点となって、半数以上を占めています。また光田氏作出花も多く9点あります。結果としていわゆる豪華な花が多く選ばれていますが、逆に草勢も繁殖力も弱いものが一部含まれることとなります。

こうした品種を実際に自分で作ってみて、文字どおり弱かったものもあれば、弱いと言われていたものがよく増えているケースもあり、作場によって違いがあると分かりました。

今後も「丈夫で、よく増え、自分好みの美しさ」を持った花菖蒲を作っていきたいと考えています。